

福岡県の世界遺産

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



沖ノ島では、4世紀後半から9世紀にかけて航海の安全を願う祭祀が行われました。

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は、沖ノ島を崇拝する伝統が古代東アジアの活発な対外交流の中で発展し、今日まで継承されてきた貴重な遺産群として2017年7月に世界遺産に登録されました。



宗像大社沖津宮遙拝所
通常渡島できない沖ノ島を遥拝する(遠くから拝む)生きた伝統を伝える、大島における信仰の場



新原・奴山古墳群
沖ノ島で祭祀を行い、現代に続く島に対する信仰の伝統を育んだ豪族、宗像氏の物証

明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業



江戸時代の終わりから明治時代にかけて、日本は、西洋の技術や機械を取り入れて、約50年という短期間に驚くべきスピードで産業を発展させました。

福岡県ほか7県にまたがる「明治日本の産業革命遺産」は、日本の産業革命の原動力となった重工業の遺産として、2015年7月に世界遺産に登録されました。

※官宮八幡製鐵所旧本事務所、遠賀川水源地ポンプ室は非公開施設です。眺望スペースから施設の外観を見学することができます。



官宮八幡製鐵所 旧本事務所
1899年に建てられ、製鐵所の中心的な役割を果たした初代本事務所



三池炭鉱 宮原坑
重工業の燃料となる石炭を産出し、日本の近代化を支えた主力炭鉱



三池港
三池炭鉱で産出された石炭を運び出すためにつくられ、現在も産業港として使われている



遠賀川水源地ポンプ室
1910年以来、現在も動き続けている製鐵所の送水施設

資産についての解説、展示をご覧になりたい方は、以下の施設にお越しください!

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



世界遺産ガイド施設 海の道むなかた館
【住所】宗像市深田588

明治日本の産業革命遺産



北九州イノベーションギャラリー
【住所】北九州市八幡東区東田2-2-11



大牟田市石炭産業科学館
【住所】大牟田市綱町6-23



中間市地域交流センター
【住所】中間市大字垣生660-1

